

七越峠から桧原越え

【葛城第十一経塚(七越峠経塚山)】

古い峠越えの道をたどり 西国巡礼の道・桧原越えで、 西国札所の施福寺へ

和泉山脈の主稜線にある第十一経塚方面に向かうために、このコースでは大阪府側、七越峠の宿山に縁が深い父鬼から、登りごたえのある峠道でアプローチする。

父鬼バス停を降りると、そこに八坂神社と行場の観音寺がある。父鬼の由来を書いた案内板もあるので読んでおこう。しばらく父鬼川沿いをさかのぼる。乳滝不動尊、シェード入口の左手の鎖場の上に役行者像と続き、製材所手前で左の道に入る。道はやがて細くなり、林道となって林間に分け入っていく。やがてコンクリート敷の道から右に派生する道に入ると、七越峠への登り口がある。

登り始めるとすぐに古い丁石があるが、しばらく登ると未舗装林道に出て林道歩きとなる。尾根を回り込んだところで林道から派生する右の道に入ろう。しばらく古道らしい道が続くが、やがて何度も林道に出たり入ったりする。

登りつめると道標地藏と西行歌碑がある七越峠にたどり着く。茶屋跡の広場には七越峠を説明した石碑もある。経塚は南西方面の経塚山にあるが、私有地で立入禁止のため、ここから経塚を選択しよう。

峠から緩やかに登ると、七大金剛童子あたりで、右に七犬龍王社への下り道が派生する。龍王社へは3分ほどだ。道路歩きはレーダーのある三国山を過ぎても続き、牛坂入口から山道となる。

ここからは、「まきをさん」を示す道標地藏や丁石があり、古道の風情をたっぷり味わえる。分岐もあるが、道標にしたがえば施福寺へと導いてくれる。施福寺の山号、横尾山は、役行者が最後に経を埋めたので「巻尾山」と付いたとする伝承がある。バス停まではまだ20分ほど下る。

歩行距離 ◆ 約14km
歩行時間 ◆ 5時間5分

体力レベル ★★★★★
登山レベル ★★★★★

コースタイム



コース情報



父鬼バス停から少し登ると乳滝不動尊がある



道標地藏の立つ七越峠。西行の歌碑もある

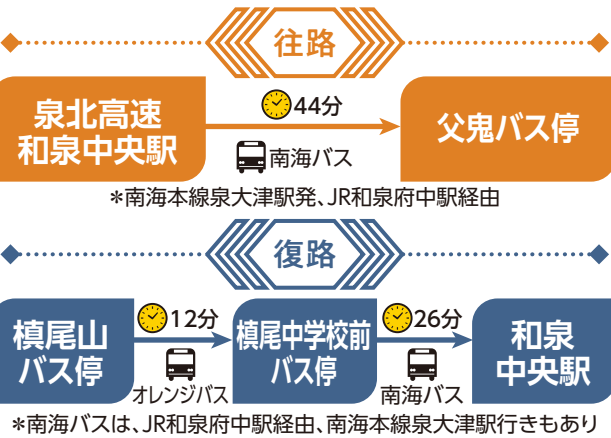


七越峠越え旧道の丁石。「さかの間十八丁」とある



西国巡礼道の桧原越えは粉河寺と施福寺を結ぶ古道

アクセス



アドバイス

本コースは登山となるのでトレッキングシューズで臨もう。七越峠までは林道が何度も交差、分岐する。和泉市の火の用心の黄色い標柱を頼りに進むこと。山上の道路に出たら、あとは迷うところはない。父鬼へのバス便は極端に少ないので、調べておくこと。横尾山からのバス便は土日が比較的多いとはいえ、やはり少ない。